

コンパクトで明るさ2倍 スポットライト型プロジェクタ

Panasonic Space Player 2000lm

パナソニック エコソリューションズ社は10月14日、照明と映像を融合したスポットライト型プロジェクタ「Space Player」の新商品として、2000lmタイプを発表、11月1日より発売する。

空間になじむスタイリッシュでコンパクトなデザイン。長寿命のレーザー光源による省メンテナンス性、PCやタブレットなど幅広い機器からのコンテンツ再生機能、投映方向を自在に変えられる可動構造など、店舗やレストランで使いやすいさまざまな特長を備えている。これまでに「丸山邸」「バーニーズ ニューヨーク銀座本店」「UGG 銀座」などで利用されている。

〈主な特長〉

1. 空間に調和するデザイン

◇コンパクトなスポットライト型デザイン

◇ケーブル類の露出が少ない

◇ブラックとホワイトの2色揃え

→デザイン性に優れ、美観を損なわない空間づくりが可能

2. 施工レス・省メンテナンス

◇配線ダクト取付方式で工事不要のため、設置や移設が容易

◇レーザー光源で2万時間の長寿命

→レイアウト変更や、イベントに応じて場所を変えるなど、ユーザーにとって自由度が高い

3. 多彩な投映機能

◇自在に照射方向を変えられる（水平360度、下方向への首降り、タテヨコの動きも自在）

◇SDカード経由で、本機単独での再生が可能

◇高所に取り付けてもリモコンで操作

→新しい空間演出のための投映機能が充実

4. 従来品（1000lmタイプ）との違い

◇2倍の明るさで比較的明るい空間での演出が可能

◇システム連動で複数台をコントロール可能。個々の明るさと色を制御でき、投影のタイミングに合わせて最適な照明シーンを再現

◇リモコンによる複数台操作が可能。また、Bluetooth機能を搭載するなどネットワーク機能を拡充し、専用ソフトと組み合わせた演出を実現

また、パナソニックは12月4日（日）まで、東京・有明のパナソニックセンター東京にて、東京2020公認プログラム特別企画展「文化のちから」を開催中。四季のあるくらしの中で脈々と受け継がれてきた日本文化の美意識を、衣・食・住と色・紋というテーマに分け、伝統工芸品とパナソニックの最新のデジタル技術の融合で、新たな文化芸術を体験できる展覧会。Space Playerも演出機器として活躍している。



(上)Space Player 2000lm (下)複数台を使ったダイレクト再生で大きな画面をつくることもできる (右)多彩なプログラミングとコントロール、ライティングとビジュアルの要素を併せ持つ投影方法など利用シーンは無限

パナソニックセンター東京 特別企画展

文化のちから

くらしを彩る、ニッポンの美意識

東京2020 公認プログラム

10月18日(火) - 12月4日(日)

予約不要 参加無料